

近未来の世界遺産を目指す
江戸城全体整備構想の策定並びに
江戸東京の歴史文化まちづくりを目指して

設立3周年記念 シンポジウム&パネルディスカッション

(50音順・敬称略)

第Ⅰ部 基調講演

東京に秘められた水都としての可能性

講師：江戸東京歴史文化のフィールドワークのパイオニアにして、第一人者
陣内秀信 法政大学江戸東京研究センター特任教授 (略歴・写真裏面)

第Ⅱ部 調査報告

旧江戸城外濠内の歴史文化遺産の調査

後藤宏樹 都市史研究家 (江戸城プラタモリ案内人)

第Ⅲ部 パネルディスカッション

基調講演、調査報告を受けテーマの基本的な視点や課題、今後の方針について議論を深めます。

- ・400年以上の歴史を踏まえた江戸・東京を問いなおす
- ・失われた天守や御殿などの歴史建造物の復元は？
- ・文化遺産の意味付け、ストーリー・観光化から世界遺産化に向けての一連の流れは？
- ・産学官民による歴史文化まちづくりプラットフォームづくりの可能性を探る

パネリスト：第一線で活躍する研究者

岩淵令治 海野 聡 清水哲夫 中島直人 福井恒明 (略歴・写真裏面)

開催日：10月18日(日) PM 2時から4時50分

会場：日比谷図書文化館大ホール 後日YouTubeによるオンライン配信でご覧になれます。

*配信日等については、改めてホームページ等でご案内させていただきます。

共 催：一般財団法人 江戸東京歴史文化ルネッサンス
共 催：一般社団法人 日本イコモス国内委員会

後援：千代田区、東京文化資源会議、法政大学江戸東京研究センター、外濠再生懇談会、
日本イコモス国内委員会第18小委員会、公益財団法人日本ナショナルトラスト、
NPO法人水都東京を創る会、谷根千工房、文化倶楽部他多数依頼中

* (一社)日本イコモス国内委員会とは、国際連合教育科学文化機関(ユネスコ)の諮問機関として、1965年に設立した世界遺産登録の審査、モニタリングの活動を続けている国際的な非政府組織(NGO(ICOMOS)の国内委員会)で、文化遺産保存分野の第一線の専門家や団体470の関係者が様々な活動を行っています。
参照：ICOMOS Japanのウェブサイト (<https://icomosjapan.org/>)



基調講演 講師

陣内 秀信 法政大学江戸東京研究センター特任教授

略歴：東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。イタリア政府給費留学生としてヴェネツィア建築大学に留学、ユネスコのローマ・センターで研修。専門はイタリア建築史・都市史。建築史学会会長、地中海学会会長、都市史学会会長を歴任。パレルモ大学、トレント大学、ナポリ大学、ローマ大学の契約教授を務めた。中央区立郷土天文館館長、国交省都市景観大賞審査委員長他。

著書：『水都東京-地形と歴史から読みとく下町・山の手・郊外』（筑摩書房、2020）他。

受賞歴：サントリー学芸賞、地中海学会賞、建築史学会賞、イタリア共和国功労勲章、建築学会賞、パルマ「水の書物」国際賞、ローマ大学名誉学士号、サルデーニャ建築賞、アマルフィ名誉市民、ANCSAアルガン賞他。



パネリスト

岩淵 令治 学習院女子大学国際文化交流学部日本文化学科教授

専門分野：日本近世都市史 都市「江戸」の表象 近世考古学との学際研究等。

略歴：1966年、東京都生まれ。学習院大学文学部史学科卒。東京大学大学院人文社会研究科単位取得退学（1999年博士（文学）取得）。江戸東京博物館専門研究員、国立歴史民俗博物館助手・准教授を経て現在に至る。

著書：『江戸武家地の研究』（塙書房、2004年）、『中学歴史』（山川出版社、2020年、共著）他。

外部活動：慶應義塾大学大学院・学習院大学大学院非常勤講師、史学会理事、都市史学会編集委員、中世城館・近世城郭遺跡等の保存に関する検討会委員（文化庁）、東京都文化財保護審議会委員等。



海野 聡 東京大学大学院工学系研究科建築学専攻准教授

専門分野：日本建築史博士（工学）。法隆寺・延暦寺から民家まで、幅広い歴史的建造物の調査・研究や発掘調査からの建物の復元などを手掛けるかたわら、古建築の魅力や見方を広く伝える活動を続けている。

略歴：1983年、千葉県生まれ。2008年東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。2009年奈良文化財研究所研究員。2018年10月より現職。

著書：『文化遺産と〈復元学〉-遺跡・建築・庭園復元の理論と実践-』（吉川弘文館）他。

外部活動：日本イコモス木の委員会副委員長・建築史学会編集委員等他多数。



清水 哲夫 東京都立大学大学院都市環境科学研究科教授（調査研究委員会・座長）

専門分野：研究分野は交通学および観光政策・計画学で、特にIntelligentTransportSystem、交通需要推計手法アジアメガシティの交通ビッグデータを主要な研究課題としている。

略歴：1993年東京工業大学工学部土木工学科卒業、1995年東京工業大学大学院理工学研究科土木工学専攻修了、2002年に東京工業大学から博士（工学）授与2001年東京大学大学院工学系研究科助手、2007年同准教授を経て、2011年より現職。

外部活動：2017年より公益社団法人日本観光振興協会総合調査研究所所長兼日本観光振興アカデミー学長を兼務、その他官公庁や自治体の多数の専門委員会委員他。



中島 直人 東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻准教授

専門分野：都市計画

略歴：1976年、東京都生まれ。東京大学工学部都市工学科卒、同大学院修士課程修了。博士（工学）。東京大学大学院助手・助教、イェール大学客員研究員、慶應義塾大学専任講師・准教授を経て、2015年4月より現職。

著書：『都市計画の思想と場所 日本近現代都市計画史ノート』（東京大学出版会、2018年）他。

外部活動：国際都市計画史学会理事、杉並区まちづくり景観審議会会長、千代田まちづくりサポート審査会会長他。



福井 恒明 法政大学デザイン工学部教授

専門分野：景観工学、都市景観、景観行政、社会基盤構造物・空間のデザイン

略歴：1970年、東京都生まれ。東京大学工学部土木工学科卒、同大学院修士課程修了。清水建設、東京大学、国土交通省国土技術政策総合研究所、法政大学デザイン工学部准教授などを経て2013年より現職。

外部活動：江戸東京研究センター、外濠市民塾、外濠再生懇談会、千代田区景観アドバイザー、都市景観大賞審査委員等。



調査報告・アドバイザー

調査報告 後藤 宏樹 都市史研究家

アドバイザー 荻谷 勇雅 （一社）日本イコモス国内委員会副委員長、元文化庁文化財鑑査官

矢野 和之 （一社）日本イコモス国内委員会事務局長、文化財保存計画協会代表